

障害のある人に対する理解を深めるための研修事業

社会福祉法人 かたの福祉会

〒576-0063 大阪府交野市寺4丁目590番地の1

助成事業の概要

少子高齢化による人口減少により、今後、労働力不足や社会保障の維持困難、地域経済の衰退が懸念されています。特に介護・障がい福祉分野では、支援ニーズの多様化や困難の複合化が進む一方で、担い手不足が深刻化しており、良質なサービス提供の継続や、いわゆる「介護難民」「支援難民」の発生が危惧されます。そこで当法人では、大阪府認定の「知的障害者移動支援従業者養成研修課程」を実施し、障がいのある方の外出支援に必要な知識と技術を習得できる機会を設けます。交野市内のボランティア団体や民生児童委員、法人内の無資格職員等を対象に、1 講座 20 名、年間 3 回、計 60 名を無料で募集し、福祉人材の育成と障がい理解の促進、地域連携の強化を図ります。

事業の成果

本事業では、地域における障がい福祉の担い手育成と障がい理解の促進を目的として、年 3 回にわたり移動支援従業者養成研修を開講しました。第 1 回は 9 名が受講し 6 名がヘルパー登録、第 2 回は 15 名が受講し 3 名が登録、第 3 回は 4 名が受講し 2 名が登録に至り、年間では合計 28 名が受講し、そのうち 11 名が当法人のヘルパーとして登録する成果につながりました。

研修では、障がい福祉制度や移動支援に関する基礎知識に加え、障がいのある方の生活上の困りごとや、外出時に必要となる具体的な支援方法に

ついて学ぶ機会を設けました。障がいのある方に対して、「どのように接すればよいか分からない」「対応が難しそう」「怖い」といった不安や先入観を持つ方も少なくありません。しかし、本研修を通じて、障がいの特性や本人の思い、日常生活で必要とされる配慮について理解を深めることで、受講者が支援に対する心理的なハードルを下げることができました。

また、座学だけでなく、外出支援を想定した実践的な学びを取り入れたことで、受講者は障がいのある方の状況に応じた声かけや見守り、安全確認、移動時の配慮などを具体的に理解することができました。これにより、単なる資格取得にとどまらず、地域の中で障がいのある方を支える人材の育成につながったと考えています。

さらに、地域住民やボランティア関係者等が研修を受講することで、障がいのある方の困りごとを地域全体で受け止め、自然に協力し合う意識の醸成にもつながりました。今回の研修は、福祉人材の確保だけでなく、障がい理解の促進、地域住民との関係構築、地域共生社会の実現に向けた重要な取り組みとして、大きな成果があったものと考えています。

成果の広報、公表

本事業で実施した移動支援従業者養成研修について、地域住民や関係機関に広く周知を図るため、当法人ホームページ等において研修内容及び実施状況を公表しました。公表にあたっては、研修の目的である障がい福祉人材の育成や、障がいのあ

る方への理解促進、地域における支援体制の充実を分かりやすく伝えるよう努めました。また、年間 3 回の研修実施状況、受講者数、ヘルパー登録につながった成果等を掲載することで、本事業の実績を地域に向けて発信しました。これにより、障がいのある方の外出支援の必要性や、地域住民が福祉の担い手として関わる意義について理解を深めていただく機会となりました。今後もホームページ等を活用し、事業の取り組みや成果を積極的に発信することで、地域における障がい理解の促進と福祉人材の確保につなげていきます。

今後の展開

今後、かたの福祉会では、移動支援従業者養成研修を継続的に実施し、地域における障がい福祉の担い手確保と障がい理解の促進に取り組んでいきます。少子高齢化により福祉人材の不足が一層深刻化する中、地域住民、ボランティア団体、民生児童委員、法人職員等が研修を通じて知識と技術を習得し、障がいのある方の外出や社会参加を支える体制づくりを進めます。また、受講後にヘルパー登録へつながる仕組みを強化し、実際の支援活動へ円滑に参加できるようフォローアップや相談体制の充実を図ります。さらに、研修を地域交流の場として位置づけ、障がいのある方への理解を深めるとともに、地域住民が互いに支え合う意識の醸成につなげます。かたの福祉会は、本研修を通じて地域共生社会の実現を目指し、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献していきます。